

輝く産業未来像

鳥取県産業振興機構

鳥取県の農山漁村には、特色ある農林水産物、美しい景観など長い歴史の中で培ってきた貴重な資源がたくさんある。

農商工連携は、このような資源を有効に活用するため、農林漁業者と商工業者の人たちが互いの「技術」や「ノウハウ」を持ち寄って、新しい商品やサービスの開発・提供、販路の拡大などに取り組むもの。現在、県内各地で、創意工夫を発揮した農商工連携の多様な取り組みが始まっている。こうした背景から、鳥取県産業振興機構では、農商工連携を事業として立ち上げ、素材を作るプロの農林漁業者と、素材を生かす

農商工連携が熱い！「売れる」商品開発支援

農商工連携で誕生したカレーケチャップ



が整理されると次にどのように売れるのか、販路はどうか、という課題が浮き彫りになる。最終的には「連携するメンバーは誰にするのか」「予算配分は」「事業期間はいつまでか」を決めていく。

農商工連携は、このような資源を有効に活用するため、農林漁業者と商工業者の人たちが互いの「技術」や「ノウハウ」を持ち寄って、新しい商品やサービスの開発・提供、販路の拡大などに取り組むもの。現在、県内各地で、創意工夫を発揮した農商工連携の多様な取り組みが始まっている。

基本的な課題解決の手法だが、われわれは各事業者と伴走しながら事業計画を策定し、補助金を効果的に活用しながら課題解決を図っていく。具体的には、農と

例えば「カレー消費地として名高い鳥取で、地元食材を活用したカレーの新商品は作れないか」。こうした思いに対し、われわれが行う支援としては、まずは事業計画の策定。計画策定する中で、いろいろな課題が表面化してくる。具体的には「商品コンセプトは」「どの地域をターゲットにするか」「誰向けに販売するのか」など。第1の課題

農工のマッチング、商標登録、消費者モニター活用、商品改良、デザイナーの活用、商談会のセッティングなど。商品開発・販売のステップに応じた支援を行っている。多くの農商工連携事業アイデアはあるけど、どこに相談すればいいのかわからないという人、気軽に相談してもらえたらと思う。

(新事業創出部 桑本忠信)